**暴力団排除に関する誓約書**

（別紙５）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 　 　　年　　月　　日

　高知県知事　　様

　　　　　　　　　　　　　　（申請者）住　　　　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　商号又は名称

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者職氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　又は氏名

　下記事項について、誓約いたします。

　これらが、事実と相違することが判明した場合は、契約の解除等の高知県が行う一切の措置及び当方が不利益を被ることとなっても、異議の申立てを行いません。

記

|  |
| --- |
| 次のいずれかに該当するものではありません。また、将来においても該当することはありません。  （１）暴力団又は暴力団員等である。  （２）高知県暴力団排除条例(平成22年高知県条例第36号)第18条又は第19条の規定に違反した事実がある。  （３）役員（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者を含み、法人以外の団体にあっては、代表者、理事その他これらと同等の責任を有する者をいう。以下同じ。）が暴力団員等である。  （４）暴力団員等がその事業活動を支配している。  （５）暴力団員等をその業務に従事させ、又はその業務の補助者として使用している。  （６）暴力団又は暴力団員等がその経営又は運営に実質的に関与している。  （７）いかなる名義をもってするかを問わず、暴力団又は暴力団員等に対して、金銭、物品その他財産上の利益を与え、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持又は運営に協力し、又は関与した。  （８）業務に関し、暴力団又は暴力団員等が経営又は運営に実質的に関与していると認められる者であることを知りながら、これを利用した。  （９）役員が、自己、その属する法人その他の団体若しくは第三者の利益を図り、又は第三者に損害を加えることを目的として、暴力団又は暴力団員等を利用した。  （10）役員が暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している。 |
|